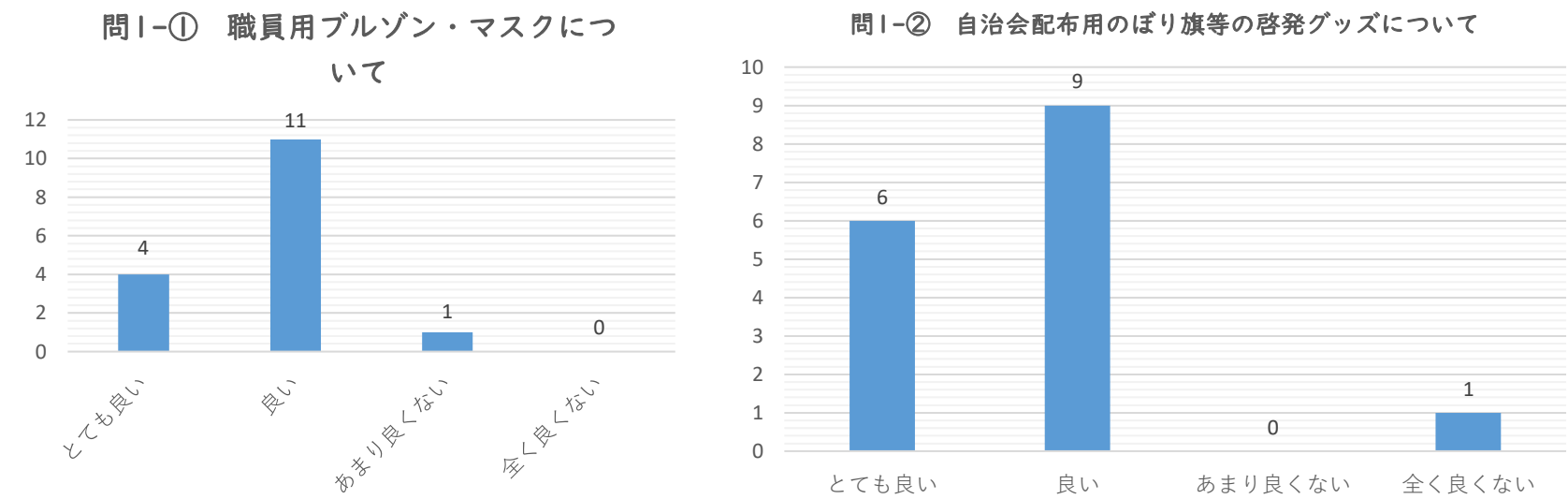


第3回東区まちづくり懇話会 書面開催結果

○集計期間 令和4年3月4日～18日

委員の皆様よりいただいた御意見を、以下のとおり集計しました。

[問1]東区役所では、自治会加入促進を図るため、各種自治会加入促進グッズを作成しました。
資料2-1「自治会加入促進の取組について」をご覧ください、それぞれ当てはまるものを選択☑してください。



[問1-③] その他、自治会加入促進啓発グッズとして何かアイデア等がございましたら御記入をお願いします。

No.	意見内容
1	自治会加入を促進するグッズは、全般的にコストパフォーマンスの低いものとなる可能性があるが、現代人が日々手にするスマホを活かすなら、効果が期待できるかもしれない。 例えば、私の自治会では“LINE公式アカウント”で情報発信（大雨の時に近所の川の様子を撮ったり、迷子の犬や猫を撮ったりして、写真をアップロードするなど）しているが、受信者を自治会員に限ることとすれば、自治会加入のメリットとして謳うことができよう。
2	自治会に入ったら、ゴミ袋（中）を1つ下さいます。他の所は、コロナなので2袋とか、校区、町内でもさまざまです。自治会に入会の良い所等書いてあるゴミ袋があればと思いました。
3	自治会必要無い・・・こんな人達グッズも何人にも無し 話にも、宗教・政治を持ち出し、逃げるだけ 一緒に住んでいて怖いと・・・口に出しても自治会は無理と
4	「転入者証」（仮称）の交付 若い世代（特に、震災後新しく転居してきた方）は、「〇〇校区〇〇町内〇〇班」を意識しないまま居住が始まり、ゴミ捨て場の場所や清掃当番のことなど理解していないケースがあり、隣人等から指摘され嫌な思いになったとのこと聞かれます。転居・転入届の際に自治会加入の案内に併せ、自治会長・事務局長の氏名、連絡先を記載した「転入者証」（仮称）を交付し、地域住民としての協働意識を醸成してはどうでしょうか。
5	自治会の担っている役割り、イベント等が乗っているパンフレットを作って未加入のお宅に配布する。
6	ボールペン・マウスパッド・スマホ等の充電コード
7	キャップなど
8	・区民課窓口で、自治会加入のお知らせを配布する際に、日常的に利用したり、目につきやすい物に印刷して配布する。ティッシュ、ペン、除菌シートなど。 ・転入してきた方に、冷蔵庫に貼れるマグネットを配布。校区や町内名が表記してあると意識しやすいのではないか。
9	何かシンボルがあるのは有効であると思うが、アンケートにも記載されていた通り自治会に入るメリットを明確にすることの方が重要だと思います。現在は人とのつながりがメリットといわれても響かない人が大勢を占めるかと思います。つながることにより何がメリットなのか、もう少し落とし込んで説明できるようにしていく必要があるかと思いました。（←このようなものをチラシに整理して配布した方が効果がありそうな気がしました）
10	転居者が多いでしょうから、加入の話をしに行く際に、〇〇地区ご近所マップ（近所のハザードマップ、公園などお出かけ所、お食事処等）を作られては如何でしょうか。
11	資料2-1にある自治会加入啓発チラシ「ようこそI町内へ」の記載内容が読み取れないが、加入促進グッズとして大いに活用したいので、熊本市民からもアイデアを募集するなどして知見をフル活用し、充実したチラシ作成に努めていただきたい。
12	ポケットティッシュやハンドタオルなど生活必需品

〔問2〕自治会加入促進事業の取組について御意見、御提案等がございましたら御記入をお願いします。

No.	意見内容
1	この件については、客観的に現状の分析をするところに着眼点を据えていかないと、せっかくの施策も効果を十分に上げられない可能性がある。そこで、資料2-2問1（減っている理由）に注目すると、最も多いのが「自治会に加入するメリットがない」、次に「役員になったら負担が大きい」とあり、それは多くの自治会で普段から住民に接している役員の率直な受け止め方だと思われる。そのことからすると、住民の心理面から、“自治会を損得勘定で判断している”“地域コミュニティの認識がない”などの問題点が上げられよう。 しかし、住民側のそれらの点を非難するばかりでは、自治会への加入が期待できないばかりか、肝心の自治会自体の存在意義を高めることにはつながらない。まして、自治会という存在一般のイメージをPR媒体で広めても、未加入者の関心は高まらず、また加入者も“加入していて良かった”という感興を覚えることは少ない。 そこで、まず“メリット問題”の解消を図るため、各自治会が“私たちは、こんなにメリットの多い活動をしていますよ”と訴求力の高い情報伝達をすべきだ。即ち、①各自治会固有の強みを洗い出し或いは強化し、②その強みを見える化する、③未加入者の個別事情にマッチした情報を伝える、というアプローチが必要だ。因みに、私の自治会では、別添のリーフレットを独自に作成し町内に配布した。このような形の取り組みが、自治会の存在意義を地域に浸透させ、自治会加入を増やすことにもつながると思う。
2	自治会の役員よりも隣保の方達にお誘いしていただけたらスムーズにいくのではないかと思います。近所の世話好きな方々のお力を借りたいです。
3	現在配布中の「つながる、安心。だから、町内自治会」パンフレットを見ただけでは、自治会に加入したくなるという加入メリットのインパクトが弱く、加入促進グッズとしての費用対効果は低い。 改善策：自治会加入者から加入して良かった、あるいは加入していて助かったなど、自治会へ加入したくなるような生の声をヒアリングし掲載していただけると活用し易いのではないのでしょうか。
4	1 見守り活動等の際に把握した空き地情報を共有し、新築や分譲等の工事状況を見極め、入居時には町内の民生委員児童委員と連携してなるべく早い時期に加入案内を行う。 2 情報伝達のツールである「回覧板」は、自治会未加入者は触れることがないため、地域情報が伝わらないことをアピールしていく。 3 防犯灯の維持管理や清潔なゴミ捨て場の管理など、地域住民の共助で成り立っていることをアピールしていく。
5	なし・・・自治会が無いところは、ゴミ収集しない 住民が困ることがなければつくらない!! 困ることがないから作らない
6	子供会と連携
7	・活動をわかりやすく、生活に（日々の）ごみは当番がいないので同じ人が清掃されます。 ・外灯の修理等
8	地域により差があり、住宅地では若い世代が増加しているが自治会加入率は低かったり、高齢化している地域では自治会活動に参加することが出来ないが、災害時や日常生活でも地域でのつながりや見守りが必要である。今後地域のつながりが希薄化する可能性は高く、自治会活動の内容や地域のつながり、地域共生社会の必要性を住民に周知していただくための取り組みは大事と考えます。
9	・若い世代は、スマホで情報を確認する時代なので、バーコードで読み込んだら自治会のことがわかるようにしてはどうか。 ・自治会に加入するメリットを4コマ漫画などで紹介し、スマホで、気軽に見れるようにする。 ・転入してきた方は住む場所のことがわかりにくいので、自治会に加入したらパスワードをもらえて、地域の情報を集めたサイトに入っていけたり、避難場所や防災に関する情報を確認できたり、コロナで飲食の持ち帰りや配達してるお店の情報や割引などお得な情報を得られる特典をつける。 ・「ささえりあ」のような愛称をつけて親しみを持ってもらう。

〔問2〕自治会加入促進事業の取組について御意見、御提案等がございましたら御記入をお願いします。

No.	意見内容
10	自治会会員さんのご近所つきあいを通してのコミュニケーションの中から自治会活動のメリットなどを未加入の方達へ伝えることも大事だと思いますし、市の広報誌等を通じての自治会加入のメリットを周知することも大事だと思います。その意味で加入促進啓発グッズの作製には賛成いたします。
11	熊本市として事業を行うのであれば、自治会が強固であって欲しい理由について整理しておいた方が良かったです。自治会からの要望で実施するだけでなく、市としても自治会が強固になることによるメリットがあると思います。そのメリットと、自治会のメリットがどのように連携することでどのような街づくりを目指しているか、などといった大枠が理解できるような資料があれば、自治会加入促進にも使用でき、効果もあるのではないのでしょうか。
12	可能であれば、地区の保健師さんなどと同行されてはどうでしょうか。全ての地区に担当の保健師が居られることを知らない方もおられるのではないかと思います。
13	自治会加入は、本人が地域との関わりをどのように感じているかにもあると思います。子どもの時に地域の中でどのような経験をしたか、どのような地域のあり様の中で育ったかにも根本的なとらえ方があるように思います。そのようなことから、子どもが地域の中で地域の人・物・文化と触れ合う機会を持つことが大事だと思います。今すぐという答えにはなっていませんが・・・
14	若い家庭や大きなマンションなどの住民が加入しないことが多いので、地域の自治会が地域の子供たちやお年寄りのために具体的にどんな活動をしているのか、もっと周知する必要があると思います。

〔問3〕現在、ご自身が加入されている自治会の活動等について、良いと思われる点、また改善したほうが良いと思われる点等、お気づきのことがございましたら御記入をお願いします。

No.	意見内容
1	現在、コロナ禍で回覧板が唯一の情報源となっている。ただ文章を閉じただけでなく、見てもらいたい情報や自治会ニュース「ごみステーションの状況」など工夫していただきたいと思う。
2	上に記したLINE公式アカウントや自治会リーフレットなどは、当自治会の活動を対外的にアピールできる手段となっている。 ただ改善すべき点として、当自治会の会費は平成21年度6,600円/年、その後令和3年度4,800円/年と低減化してきたが、これに公民館費1,200円/年が加わり、自治会員の負担は現時点でも6,000円/年である。この点について、年金生活者が一層増える時代を迎え、自治会公民館費を極力安くしなければならない。 そのため、自治会活動と公民館活動を抜本的に見直し再編成し、簡素効率化を進めより少ない予算で運用する工夫が必要だ。
3	なかなか役員のなり手がいないのでマンパワーがたりません。
4	・自分が加入している自治会の会費が妥当な額なのか把握したい。 改善策：熊本市内自治会の会費の実態公表。平均額。実態額（下限値～上限値の幅表示） ⇒加入をスムーズに進めるための根拠材料とする。できれば基準額の設定を要望する。 ・コロナ感染対応により顔を合わせての自治会活動が大幅に減少したため、会員間の交流がなく、隣保組長を含む役員の職務習熟度も進まない結果絆が弱まってきており、今後の自治会存続が懸念される。 改善策：アフターコロナを見据えた生活様式の中で、次の自治会を担う若い世代への加入を促進するために、自治会の魅力度・関心度を高めるための情報、防災・子育て情報、若者が中心となって活躍している自治会活動内容等の情報提供等をメール、掲示板等を活用して定期的に配信し、若い世代が気軽に情報を入手し、自治会を身近な存在として捉えられるようなツール作成を行政にお願いしたい。
5	【良い点】 1 コロナ禍の影響もありここ2年ほどは活動が自粛されていますが、「回覧板」による情報伝達は続いています。 2 民生委員との連携による緊急時安否確認や新規転入者の把握、自治会加入案内も実施しています。 【改善点】 3 参加者を募る「回覧板」による行事案内は、参加者の記載がない場合が多く、回覧終了後の状況でのフォロー（声かけ）が必要ではないか。 4 「役員のなり手不足」が要因と思われるが、役員の若返り化の推進が望まれます。そのためには、日ごろから、若手世代との顔見知りを図り、「隣人のお助けマン」の養成が望まれます。
6	公営住宅ですが、毎月の定期清掃、年に1回の住民総会参加を懇親会、子供（赤ちゃんからお年寄り）から全員出席します。開始する前に必ず自治会、子供会、公民館で敬老プレゼント配布（出席し、子供達から声かけなど）。ただ、現在の孤独死、対策の一環と発見、こえかけです。
7	募金がほぼ強制に近い。今のご時世に合わないので、やめた方がよい。
8	自治会長の人柄によるものと思われます。 総会に参加した時、報酬300,000円を360,000円にして欲しいと前会長と本人がいわれたのにはびっくりしました。自治会に参加するように来られたので、参加したら会費は払ったのに回覧も何もいって来ないので、やめましたと聞きました。 25件位あって入会されてるのは6件程です。だんだん入会される方が減少して行きます。
9	・コロナ禍で2、3年は自治会活動の殆ど中止になっているが、夏祭りや抽選会など地域活動を計画的に実施されており、コミュニティーの場を提供されている所は良いと思う。 ・ささえりあの職員として圏域内の自治会活動に携わるようになり自治会の活動内容を知ることが出来たが、住民としてはどんな組織なのか、何をするのか、何のために会費を納めているのか、わからない方が多いのでは。自治会についての啓発チラシを回覧ではなく、一人一部ずつ配布し、周知する必要があると思う。

〔問3〕現在、ご自身が加入されている自治会の活動等について、良いと思われる点、また改善したほうが良いと思われる点等、お気づきのことがございましたら御記入をお願いします。

No.	意見内容
10	若葉小自治協議会では各種団体として、健軍商店街をメンバーに入れていただいています。 例会に出席して行事予定報告や連絡事項の確認などで意思疎通が来ています。 個々の自治会を見れば会長さんや役員さんはよく動かれていますが、その次を担う方たちの発掘が課題になっているかと思います。
11	コロナ禍で集まりがほとんどなくなりましたが、様々な世代の人が集まれる催しがあるので、参加しやすい。また、年に1回「防災の日」や「校区運動会」など、どこでも実施されていると思いますが、目的がはっきりした集まりがあると参加しやすいと思います。 コロナ禍になるとオンラインが有効ですが、オンライン的な活動は全くできていないので改善点かと思います。
12	コロナ禍のため交流が少なくなっているようです。グランドゴルフなどはマスクをすればリスクが少なくなるなどの周知を行っては？
13	会長さんはじめ役員の方々の自治会運営に対する姿勢が、一住民にも伝わって参加者が増えていると思います。
14	若い家庭や大きなマンションなどの住民が加入しないことが多いので、地域の自治会が地域の子供たちやお年寄りのために具体的にどんな活動をしているのか、もっと周知する必要があると思います。

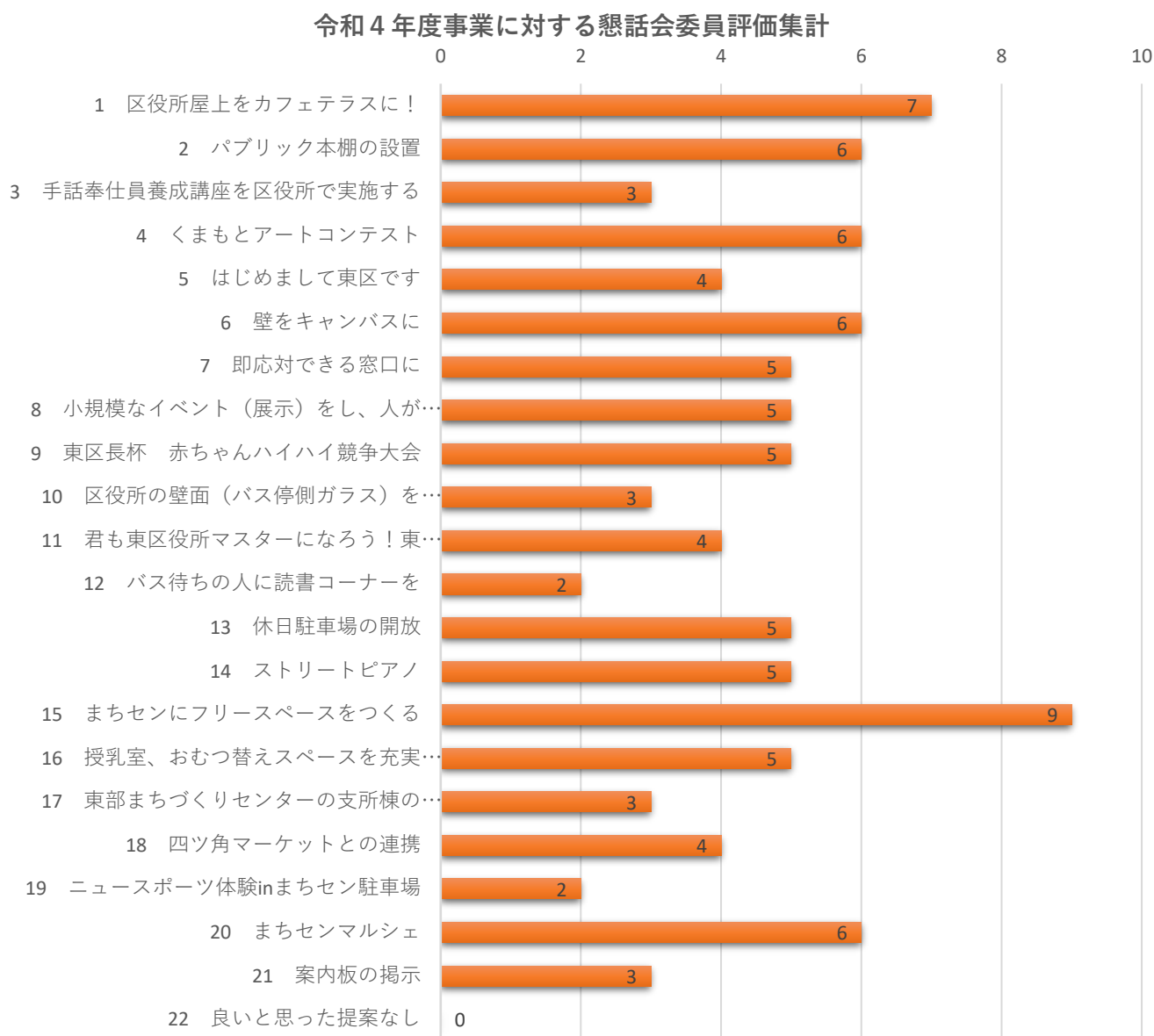
[問4] 東区役所が取り組もうとしている、「区役所やまちづくりセンターを気軽に立ち寄れる場所に」という考え方に対して、御意見がございましたら御記入をお願いします（忌憚のない御意見をお待ちしています）。
また、区役所やまちづくりセンターを気軽に立ち寄れる場所にするためのアイデアや御提案がございましたら御記入をお願いします。

No.	意見内容
1	区役所やまちづくりセンターを気軽に立ち寄れる場所に、という視点は大変重要だと思う。とはいえ、従来の発想を下敷きにしたら、アイデアはいつまでも浮かんでこないだろう。ここで例えば、ヨーロッパの都市には、コンビニと郵便局が境界の分からない混然としたスペースで店舗を構成している所がある。これに倣い、区役所の一階をスペースリフレッシュしてコンビニを入れるとか、屋外にキッチンカーを入れて昼時には手軽なランチを楽しむ場所を作り出すとか、できないだろうか。“区役所やまちづくりセンターは公共施設だから民間の営利活動はできない”のではなく、行政財産と普通財産の区分をしっかりとすれば、不可能ではないと思う。
2	区役所はごちゃごちゃしているイメージです。 みんなで集まれるレンタルスペースがあったらと思います。 ランチやお茶できるおしゃれなところがあったら楽しいと思います。
3	要望：区役所やまちセンに気軽に長時間滞在していただくため、簡易な購買施設（小規模のコンビニ等）や簡易な飲食施設（喫茶・軽食等）の導入を検討してはいかがでしょうか。
4	1 東区各校区の地産地消の販売会や伝統行事の紹介、企業参加のイベントなどが企画できれば、住民参加の意向も高まるのではないのでしょうか。（ビブレス広場での催しを参考） 2 泉ヶ丘、若葉の住民（特に主婦、高齢者）にとって、東部、秋津の町センは、遠くて利用しづらいとの意識が強い。栄町の国有地（住宅跡地）に多目的利用の施設が望まれます。
5	「おしゃれな」カフェはいい考えだと思います。近隣にあまりそういう場所がないので。パブリック本棚も面白いです。主目的であるはずの行政手続きを「ついでに手続きもできる」という発想で構成し直すと市民にとっての馴染みややすさが増すかもしれません。
6	今の形でOK まちづくりセンターは全員いい人、なんでも相談できる。
7	年齢関係なく参加できるようなイベントを実施、あるいは企業と連携などをしてイベントを行う。
8	暗く混雑しているイメージが強い。実際熊本市役所は全体が暗く雰囲気も暗いと感じる。区役所やまちづくりセンターが開かれた場所にするために、各種イベントの開催や1階フロアーに休憩所や子どもの遊び場があると多世代が集えるイメージが出来るのでは。
9	・インスタ映えする壁画（トリックアートなど、見たり写真を撮ることが楽しいものを描く） ・子どもの頃から区役所やまちづくりセンターは、気軽に行ける場所との認識を持てるように、学校と連携し、子どもが立ち寄って楽しいイベントの開催や職場見学を行う。 ・立ち寄って、中で過ごせるスペースを作る。
10	区役所は用事があって訪れる場所-というイメージは確かに強いです。 物理的にもう少し敷地や建物が広ければ、展示やミニイベント等がやりやすいとは思いますが、これはしょうがないことでしょう。 職員の皆さんが提案されたアイディアはそれぞれに色々な気付きがあると思います。 出来ることから少しずつ実現に向けて進めて下さい。

[問4] 東区役所が取り組もうとしている、「区役所やまちづくりセンターを気軽に立ち寄れる場所に」という考え方に対して、御意見がございましたら御記入をお願いします(忌憚のない御意見をお待ちしています)。
また、区役所やまちづくりセンターを気軽に立ち寄れる場所にするためのアイデアや御提案がございましたら御記入をお願いします。

No.	意見内容
11	趣旨には大賛成です。が、目的を明確にしないとアイデアに示されているとおり何でもありな状態になり、結果「なぜ、このような施策を実施したのか」という部分があいまいになりそうな気がします。 例えば、行政と地域住民の方との相互連携を深め協力してまちづくりを推進するためには、ただ単に住民がふらっと立ち寄るだけでなく、目的を達成できるような仕組みを取り入れる必要があると思います。(職員と話す場を設ける、訪ねてきた方の意見箱を設ける等) 例えば、No.5やNo.15などは東区に慣れていない人や暇な人が本当に集まる場所を提供する形になると市民の安心感の醸成、有事の際の連絡・基点としての効能、世代間の交流など、とても有効に機能すると思いますが、ただスペースを作ってもおそらく企画倒れになる可能性が高いと思います。 休日の有効スペースの活用はとても面白いと思います(No.9、No.13、No.19等)。無駄スペースの有効活用の他に、その場集まるということは場所を知ってもらうことにもつながるので、交流以外にもメリットがあるように思います。 No.6やNo.10等は、壁面という現在活用されていない箇所の有効活用になり、景観の向上にもつながり、特にNo.6は上手いくと「まちづくり」に直結する(展開できる)内容になる気がしますので、このような企画はとても意味があるような気がします(住民参加のまちづくり) 気軽に立ち寄れる場所にするという意味では、個人的には、No.14のストリートピアノが秀逸だと思いました。ピアノを弾きたくて足を運ぶ人、聞きたくて足を運ぶ人など、自然に人が集まることが期待でき、なによりも音楽が流れていることで提案内容にも記載されているとおりイライラの防止に活用できるかと思います。 個人的な案としては、No.11のアイデアに近いですが、例えばまちセンなどだけではなく、防災的に知っておいてほしい箇所、地域の名所、東区のまちづくりなどを考える上で知ってほしい場所などを設定し、フォトロゲイニングの要領でポイントを回れるように(期間は何時でもOK)しておく、まちづくりや防災、健康維持等に役に立つのではと思いました。その結果を区役所などに持ち込むことで表彰される(←何らかのものがあつた方がよいのかもかもしれません)。。。例えばここに企業の協力をもらうなども良いと思います)などの仕掛けを作るのはいかがでしょう。
12	我が家の出来事(的な)写真や、子供が描いた絵、手作り小物など鯨張らないで展示できる空間を作られては如何でしょうか。(期間も1~2週間で入れ替える)
13	公民館に対する意見でもよろしいでしょうか。 現在、公民館の会議室等を使用する場合、自治会・社協・・・などの団体のみ減免になっています。新しい地域で活動しようとする団体は有料になります。 旧態然とした制度の中で、新しい物を排除しているように感じてしまいます。 では、申請できるのか、どうすれば良いのか、全くわかりません。 地域の活力を応援していくことを具現化してほしいです。
14	若い家庭や大きなマンションなどの住民が加入しないことが多いので、地域の自治会が地域の子供たちやお年寄りのために具体的にどんな活動をしているのか、もっと周知する必要があると思います。

[問5]御覧いただいた【資料3-2】中、区役所・まちづくりセンターを気軽に立ち寄れる場所へするための提案について、良いと思った提案や推進してほしい提案がありましたら選択☑してください。(複数選択可)



●最も関心を持っていた事業●

- 1 9票 まちセンにフリースペースをつくる
- 2 7票 区役所屋上をカフェテラスに！
- 3 6票 パブリック本棚の設置
- 3 6票 くまもとアートコンテスト
- 3 6票 壁をキャンバスに
- 3 6票 まちセンマルシェ